

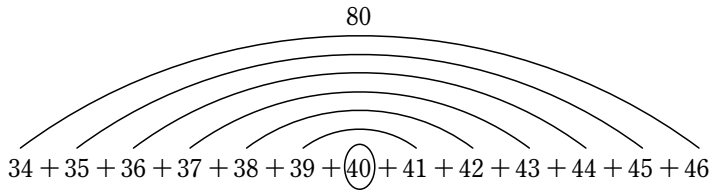
今回実施した統一合判「算数」**1**計算、**2**一行題の中から、特に見直してほしい基礎的な問題を紹介します。テスト後のふりかえり、また、基礎の再確認としてご活用ください。

問題

- (1) $34 + 35 + 36 + 37 + 38 + 39 + 40 + 41 + 42 + 43 + 44 + 45 + 46$
- (2) 4でわっても5でわっても1余る数のうち、1番小さい数は1です。2番目に小さい数、3番目に小さい数をそれぞれ求めなさい。
- (3) 今、AさんとBさんの所持金の比は8:5です。もし、AさんがBさんに400円渡すと、2人の所持金の比は7:6になります。Aさんの今の所持金は何円ですか。

ふりかえり問題—解答と解説

- (1) 和が80になる組み合わせに着目して、次のように計算をすることができます。



$$\begin{aligned}
 &34 + 35 + 36 + 37 + 38 + 39 + 40 + 41 + 42 + 43 + 44 + 45 + 46 \\
 &= (34 + 46) + (35 + 45) + (36 + 44) + (37 + 43) + (38 + 42) + (39 + 41) + 40 \\
 &= 80 + 80 + 80 + 80 + 80 + 80 + 40 \\
 &= 80 \times 6 + 40 \\
 &= 480 + 40 \\
 &= \underline{520}
 \end{aligned}$$

- (2) 1番小さい数である1に、4と5の最小公倍数である20を加えていきます。

$$\begin{aligned}
 1 + 20 &= \underline{21} \cdots \cdots 2 \text{ 番目に小さい数} \\
 21 + 20 &= \underline{41} \cdots \cdots 3 \text{ 番目に小さい数}
 \end{aligned}$$

- (3) 2人のお金やりとりをしても、2人の所持金の和は変わりません。

AさんとBさんの今の所持金をそれぞれ⑧、⑤、やりとりした後の所持金をそれぞれ⑦、⑥として線分図に表すと、次のようになります。⑬ (=⑧+⑤) と⑬ (=⑦+⑥) が等しいので、⑬=⑬より、①=①とわかります。

よって、⑥=①×6=⑥となり、⑥-⑤=①が400円にあたるのがわかります。

$$400 \times 8 = \underline{3200} \text{ (円)}$$

